

様式第 4 号

課題名	End of life care decisions among aged patients in intensive care unit -compared with young people-
承認番号	2019-62 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 集中治療部 氏名 永田 功
研究期間	(西暦) 2020 年 3 月 ~ (西暦) 2025 年 3 月
研究の意義・目的	<p>高齢化は全世界で急速に進んでおり、2060 年には高齢化率(総人口に占める 65 歳以上の人口の割合)は、全世界で 17.8%、先進国で 27.6%、発展途上国で 16.3%になると報告されています。高齢化に伴い、集中治療室に入室する高齢者が増加すると予想され、今後ますます集中治療室における高齢者の終末期医療決定が重要になると考えられます。</p> <p>本研究では、多国家多施設前向き観察研究のデータベースを使用し、非高齢者と比較して集中治療室における高齢者の終末期医療決定の特徴を明らかにし、年齢と治療制限の関連を検討します。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	既に収集された多国家多施設前向き観察研究のデータベースを使用し、データ解析を行い、論文化します。多国家多施設前向き観察研究の研究対象は、2015 年 9 月から 2016 年 9 月の 6 か月の期間で、各施設の集中治療室で死亡した症例、または治療制限を行った症例でした。本研究では、脳死症例、16 歳未満の患者は研究対象から除外します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	<p>利用目的：非高齢者と比較して集中治療室における高齢者の終末期医療決定の特徴を明らかにし、年齢と治療制限の関連を検討するために使用します。</p> <p>利用方法：データベースを使用し、データ解析を行います。</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	基本属性、既往歴、疾患名、心肺蘇生の実施、脳死状態の有無、治療制限の有無・方法、積極的安楽死の有無、医療者および本人・家族の宗教的背景、治療制限に至った理由、ICU 退室時・病院退院時転帰等
試料・情報を 利用する者の範囲	当院の実施責任者 (永田 功)、研究分担者 (武居 哲洋)、ならびに中央施設の研究責任者と共同研究者
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	<p>当院：集中治療部 永田 功</p> <p>提供元：Hadassah Hebrew University Medical Center, Jerusalem, Israel (Charles Sprung)</p>
問い合わせ先	〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 集中治療部 氏名 永田 功 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101